

スエTの科学の時間

2月27日(金)に『スエTの科学の時間』がありました。

今回は、静電気について、考えてみましたよ。

前回の「雲は水の粒でできている」ということを思い出して、「雲の中で水の粒と粒がぶつかり合って、プラスとマイナスの電気が発生する。」「電池にもプラスとマイナスがある」と電池を見せると、「知ってる!」と嬉しそうでした。雲で発生したマイナスの電気と地面のプラスの中で電気が走る現象が雷です。「雷見たことある!」「ピカピカするよね～」と思い出していました。



興味津々で聞いていたきりん組です。

実験

- ① スズランテープのクラゲをティッシュでこする。(クラゲがマイナス、ティッシュがプラスの電気を帯びる)



- ② ポリエチレン袋をティッシュでこする。(袋がマイナスの電気を帯びる)



- ③ マイナスのクラゲとマイナスの袋を近づけると、反発してクラゲが浮かぶ。



手にくっついてる～



スズランテープのクラゲを浮かせることは少し難しかったのですが、雷の現象を身近に感じることができた子どもたちでした。

